

# ★えほん★

## 「おはよう、はたらくくるまたち」 E4リヒ

シェリー・ダスキー・リンカー／文  
トム・リヒテンヘルド／絵 ひさかたチャイルド

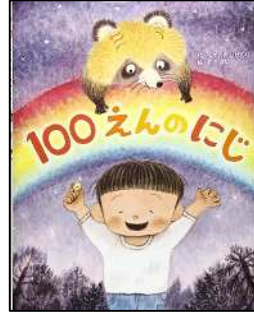
こうじげんばにあさがきた。きょうから、あたらしいしごとがはじまるのだ。でも、5だいのなかまだけでは、たいへんなしごとだ。そこで、ミキサーしゃがクラクションを大きくならすと…



## 「100えんのじ」 E3ニキ

くすのきしげのり／作 にきまゆ／絵 フレーベル館  
やまおくにすむふるダヌキ「だいごろう」。今

までだれもしんじないで、いっぴきで生きてきた。ある日であつたにんげんのこどもを、ばかしてやろうとかんがえ、「ほしいものをいってみな」といって、こどもは「にじがいい」とこたえた。



## 「重力って……」 E2シユ

ジェyson・チン／作 竹内薫／訳 偕成社

重力って聞いたことある？ だれでも知っているはずなのに、だれもホントはよく知らないのが重力。すべてのものにはたらく、ふしぎな力だ。この絵本はそんな重力の本質を子どもにもわかりやすく教えてくれる。



## 「がっこうだってときどきしてる」

アダム・レックス／文 クリスチャン・ロビンソン／絵  
なかがわ ちひろ／訳 WAVE出版 E4ロヒ

ぼくはうまれたばかりの「がっこう」。「がっこう」ってどんなところかとときどきしていたら、こどもたちがやってきた。みんな、あそんだり、べんきょうしたりしてるよ。でも、あのこはちがうな。どうしてかな？



# ★よみもの★

## 「ネコの家庭教師」 931ナン

南部和也／作 さとうあや／絵 福音館書店

街の市場で生まれた白ネコのベスは、女王さまの孫のトリア姫とであう。かしこいベスは、トリア姫の家庭教師としてやとられることに。ベスはりっぱな家庭教師になるために勉強をするが…



## 「いたずらこやぎと春まつり」 931マツ

松居スーザン／作 出久根育／絵 佼成出版社

『にひきのいたずらこやぎ』『トルとにひきのいたずらこやぎ』につづく第3弾！春になって、赤いスカートををはいたおばあさんとこやぎのハイジとペーターは、友だちのトルといっしょに春まつりに出かけます。ところが…



## 「おしろのぼん人とガレスピー」

ベンジャミン・エルキン／作 ジェームズ・ドーハーティ／絵  
小宮由／訳 大日本図書 932エル

せかいじゅうのだれよりも目がいい3人のきょうだいが、おしろのぼん人になった。おうさまは「この3人をだませたものには、金のメダルをおくる」というおふれをだした。みんな、われさきにとおしろへおしかけてきたが、さて…



## 「ぼくとベルさん 友だちは発明王」

フィリップ・ロイ／作 櫛田理絵／訳 PHP研究所 932ロイ

エディは字を書いたり読んだりするのが苦手。でも、決まった方式で考えれば正解ができる算数は大好きだ。原っぱで出会って友だちになった発明家のベルさんは、そんなエディをある人に引きあわせた。



# ★しらべもののほん★

## 「塩田の運動会」 66

那須正幹／文 田頭よしたか／絵 福音館書店

人の暮らしにかかすことができない塩。岩塩や塩湖がない日本では、砂浜に塩田をつくり、海水から塩をとった。山口県の防府市は塩田で栄えていたが、政府が塩田を廃止することをきめたので、広い空き地がのこった。そこで町内運動会がおこなわれた。



## 「ルイ・ブライユと点字をつくらした人びと」

高橋昌巳／監修 こどもくらぶ／編 岩崎書店 37

今から200年ほど前。ルイ・ブライユという15歳の少年が、6つの点だけでアルファベットや数字、記号を表す点字をつかった。その点字は世界中に広まり今もつかわれている。そのあと、日本だけの文字「かな」はどんな風にくるようになったの？



## 「モノのはじまりえほん」

荒俣宏／監修 ふわこういちろう／イラスト  
日本図書センター 03

むかしの人は木で歯をみがいていた？ コンビニは、はじめは氷屋さんだった？ この世のどんなものにもあるはじまりをくわしく紹介。つぎは君たちが「はじめてのモノ」をつくりだす番。そのためのヒントもたくさんつまっているよ。



## 「ニッポンの刑事たち」

小川泰平／著 講談社 31

テレビドラマでは、カッコいいイメージの刑事。でも、元刑事の著者は、自立つもの、派手なアクションも刑事失格なのだという。刑事になる方法から、いろんな部署の仕事、刑事の専門用語まで、本当の刑事の姿を紹介。君は刑事に向いているかな？

